

## 平成27年度 群馬パース大学 FD活動報告書

平成27年度は、前年度までのFD活動の実績に基づき継続して活動を行うとともに、学外実習科目の授業評価方法の確立、新たに導入した学務システムの教育活動における活用の推進を重点目標に掲げ、活動を展開した。

### 1. 学生による授業評価の取り組み

#### (1) 授業アンケート（講義・演習科目）の実施と結果の公開、及び授業改善計画の集約

例年通り、学生による授業アンケートを各学期終了時に実施した。学部全体の回答率は前期88.2%、後期86.5%を達成した。しかし、後期、一部の学年、学科の回答率が70%台に留まり、実施方法の改善、工夫の必要が認められた。結果については、「授業アンケート集計・分析結果シート」を作成して科目担当教員へ還元するとともに、科目ごとの集計結果をpdf化し、自由記載も含めてホームページ上で広く閲覧できるようにした。また、アンケート結果に基づく授業改善計画の提出について科目を担当する全教員に求めた。

#### (2) 授業中間アンケートの実施

平成26年度から、授業期間中において学習状況の確認と授業の改善すべき点を明らかにし、学習の促進と授業の改善が迅速に対応される機会を保障することを目的とする授業中間アンケートを、「推奨」という形で実施している。実施率については、「授業アンケート集計・分析結果シート」に基づく授業改善計画の提出と併せて調査し、平成26年度後期は79科目中37科目（46.8%）、平成27年度前期は86科目中26科目（30.2%）であった。しかし、平成27年度前期の調査では未実施科目の内、実施しなかった理由の記述として「ミニッツペーパー・提出物等」を代用している旨、回答した科目が32科目あったことから、実質58科目（67.4%）が何らかの方法で学生の意見を形成評価に反映させていたと評価できる。

#### (3) 学外実習評価アンケートの計画立案・実施

学外実習用授業評価について昨年度から準備に着手し、評価用紙試案の開発、試案を用いたパイロットスタディの実施と進めてきた。今年度は、パイロットスタディの結果を基に、評価用紙の開発、具体的な実施計画の検討、関係部署との調整等を行い、1学科6科目において評価を実施した。

### 2. FD研修会・FDワークショップの開催

#### (1) FD研修会の開催

平成27年8月19日（水）10-12時、北翔大学教育文化学部芸術学科 松澤 衛先生を講師に迎え、「ウェブ・ポータルシステムを用いたポートフォリオについて」をテーマとする研修会を開催した。教

職員の参加は64名(76.2%)であった。事後アンケートでは「非常に参考になった」、「参考になった」を合わせた割合が88.2%であり、ウェブ・ポータルシステム活用への意欲を示す良好なコメントが多数寄せられた。研修会の様子は、ホームページに掲載している。

## (2)FDワークショップの開催

平成28年2月16日(火)15-17時、「アクティブ・アカデミーの有効活用について」をテーマにFDワークショップを開催した。参加者は54名(64.3%)であった。事後アンケート(回答数53件)ではFDワークショップ全体を通して「参考になった」と回答した割合が85%、「アクティブ・アカデミーの活用方法」をテーマとして話し合ったことについて「参考になった」と回答した割合が87%であった。「学生の個人情報の取り扱いについて認識が改まった」、「アクティブ・アカデミーの活用の幅が広がった」、「積極的活用に向けて意欲が高まった」との意見が寄せられた。また、今後のFD部会企画のテーマに関する要望は、「授業デザイン(教授用及び手法)」、「研究指導のための教育力」、「成績評価のあり方」、「双方向授業」が多数であった。

## 3. ピアレビューの実施

例年どおり、前期、後期各2週間の授業公開期間を設け、ピアレビューを実施した。見学者は見学後の感想を記載し、公開者はその感想を基に授業の振り返りを行った。平成27年度は、見学者から公開者へ向けてのフィードバックの方法について検討をはじめ、感想用紙の見直しに着手した。これについては、平成28年度に引き続き作業を進める予定である。また、公開授業数に比して見学者数が伸びないこと、見学後の感想及び振り返りの提出がされない事例があることについて、今後、改善の必要が認められた。

## 4. 定期的なFD部会開催とFD活動報告書の作成、年報への収録

月1回定例にて会議を開催し、FD活動の企画・運営、情報収集など実施した。その結果は議事録に蓄積するとともに、本報告書にまとめた。本報告書は2015年度年報に収録する予定である。

## 5. FDネットワーク“つばさ”など外部セミナーへの参加による情報授受

FDネットワーク“つばさ”FD協議会(5/16 於山形大学)に参加し、他大学の教職員とFDに関する諸問題および対応策と問題意識を共有した。また、FDネットワーク“つばさ”週刊授業改善エッセイに参加した。

## 6. 今後の活動について

平成28年度は、教育に関連する新しい情報に広く目を向け、適切に取り込みながら、前年度の取り組みを継続、発展させることを基本方針とする。各事業の重点課題と取り組みの方策は次のとおりである。

(1) 学生による授業評価

重点課題：対象科目の拡大と形成的評価の強化

- 取り組み：①学外実習評価アンケート実施科目の拡大  
②授業中間アンケート実施率向上に向けたPR活動

(2) FD研修会・FDワークショップ

重点課題：教育に関連する最新情報の共有と、教員のニーズに沿った体験的学習の拡大・充実

- 取り組み：①年間1回以上のFD研修会の開催  
②年間1回以上のFDワークショップの開催

(3) ピアレビュー

重点課題：参加者の拡大と授業改善への活用

- 取り組み：①授業公開期間の見直し  
②見学者からのフィードバック方法の見直し

(4) 定期的なFD部会開催とFD活動報告書の作成、年報への収録

重点課題：FD活動におけるPDCAサイクルの循環

- 取り組み：①FD活動報告書によるFD活動実績と今後の方針の学内への周知  
②FD活動に対する継続的な意見集約とフィードバック

(5) FD活動の活性化・充実化に向けた情報授受

重点課題：持続的な情報授受と学内への迅速な発信

- 取り組み：①FDネットワーク“つばさ”及び他大学のFDセミナー等への参加  
②反転学習、ITを駆使した授業等、最新の授業ツールに関する情報収集と学内への発信  
③ホームページ等による本学のFD活動に関する学外への情報発信  
④FD-SD連携に関する情報収集  
⑤授業改善活動への学生の参画のあり方に関する情報収集